

## 平成 26 年度 研究成果報告書

### Research Achievement Report FY2014

講座名・職名 Course Title・Job Title	アジア・アフリカ講座・准教授
氏名 Name	竹原 新
専門分野 Academic Field	イラン民俗学

主たる研究テーマ Principal Research Subject	イランの口承文芸に関する現地調査資料の基盤整備と民俗学的応用研究
<p>平成 26 年度は、次の研究活動を中心として行った。</p> <p>1. イランの口承文芸に関する現地調査資料の基盤整備と民俗学的応用研究 科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）による「イランの口承文芸に関する現地調査資料の基盤整備と民俗学的応用研究」（基盤研究（C）、平成 26-30 年度）を研究課題とするプロジェクトの研究代表者としての研究活動を行った。</p> <p>（1）9 月にイラン・イスラム共和国テヘラン州内において話者と対面して録音する方式で口承文芸に関する採録調査を行った。同時に、以前のイランでの調査の資料における不明箇所の確認を行った。</p> <p>（2）ペルシア語の知識を有する学生の補助者を活用して、ペルシア語の統語情報などが付与された構造化資料を拡充することを目的としてデータの入力・整理等の作業を行った。</p> <p>（3）平成 26 年度までにイランでフィールドワークにより収集した資料のうち、イランの俗信の吉凶観に関する事例を整理して提示した上で、現代イラン人の俗信は現世の吉凶が動機となること等を明らかにした。この研究成果は、「現代イランの吉凶観」として『イラン研究』第 11 号（大阪大学大学院言語文化研究科言語社会専攻（専攻言語ペルシア語）、2015 年）、pp. 169-199 に掲載された。</p> <p>2. イラン民話の聖俗観に関する研究 「筑波大学人文社会科学研究科比較宗教学研究会商業・交易・貨幣などの産業文化の神話「交易の神話ーヘルメスの杖」」（平成 26 年 8 月 29 日、筑波大学東京キャンパス文京校舎）に参加し、「イラン民話の聖俗観」をテーマとする口頭発表を行った。この研究成果は、「イラン民話の聖俗観」として篠田知和基編『神話・象徴・儀礼』（楽瑯書院、2014 年）、pp. 15-30（横書き論文の部）に掲載された。</p>	